

「防犯設備士の資格生かせてますか?」 -防犯設備士資格を更新された方へ-

公益社団法人 日本防犯設備協会 防犯優良住宅認定制度分科会 主査

一般社団法人 京都府防犯設備協会 専務理事

バスコム株式会社 代表取締役

総合防犯設備士 /1級電気通信工事施工管理技士 / 消防設備士 / 電気工事士 小林 道治



MAIL : m_kobayashi@ssak.or.jp TEL : 075(606)1236 WEB : <https://www.ssak.or.jp/>

防犯設備士の資格を取得され、更新された方はその後資格をどのように生かされているでしょうか?

防犯設備士とは、防犯設備に関する専門的な知識・技能に基づき、防犯設備の設計、施工、維持管理及び防犯診断に関する業務を行い、警察や自治体などの関係機関・団体と連携しながら「防犯の専門家」として活躍し、地域の防犯対策や安全安心なまちづくりに大きな役割を担う者と定義されています。

ここでは、私が思う防犯設備士の資格を生かすための方法を、これまでの活動や経験を紹介しながら解説をさせて頂きたいと思います。

まずは防犯設備士の資格を生かすための方法としては、大きく下記の3つの方法があると考えます。

- 1、ビジネスの中で生かす。
- 2、ボランティア活動として生かす。
- 3、個人のスキルアップとして生かす。

ビジネスの中で資格を生かすポイント!

防犯設備士資格を取得されている方には、多様な立場の方がおられると思いますが、防犯機器メーカー、防犯機器を取り扱う商社、設計会社、施工会社、保守メンテナンス会社、管理会社、警備会社などに所属されている方が多いのではないかでしょうか?ビジネスの中で資格を生かすポイントとしては、クライアントの建物等で発生しうる、またはすでに発生している犯罪に対して、効果的な防犯機器を適切に配置し、適切に維持運用して頂けるシステムを導入いただくことで、結果その建物等の利用者を犯罪から守ることだと考えます。

その為には防犯の専門家としての問題把握力・問題解決力・提案力が必要になって来ます。私は、これまで一般のお客様だけでなく電気工事会社やメーカーさんからの依頼で多くの提案活動を行ってきましたが、防犯の専門家としての知見や経験を生かした提案をすることで、お客様の信頼を勝ち取り、多くの案件を受注に結びつけてきました。

提案書作成のための情報収集

お客様からの依頼としては、「セキュリティを強化したいので防犯カメラを設置したい」や「最近万引きが多いように思う」、「不審者が多くなってきているようだ」というような体感的不安からくる抽象的なことが多いように思います。そこでの提案のポイントとしては、まずは敷地建物全体の図面を入手し、特に守りたい部分や不安に思われている場所をヒアリングし、実際に現場を歩き死角の存在や隣接建物との境界線など脆弱な場所がないかを把握する。また、地域の

警察から出ている犯罪情報をホームページ等から入手し、その地域特有の犯罪傾向が無いかの調査も行い、全体的な弱点をあぶり出します。

提案書作成のポイント

次に、集めた情報を元に図面に弱点を記載し、その対策のための機器を配置していきます。(そのことで配置した機器の目的・用途が明確になります。)そして各機器(カメラ、センサー、鍵など)の選定理由と目的に対する有効性の説明を記載します。後は、各機器への配管・配線ルートや方法を記載し完成です。私の場合、これを元に作成した提案書を、お客様に提出し説明した時点でお客様の表情から競合他社から1歩抜けたことが肌感覚で伝わってきます。

後は予算に合わせて纏めて構築するかステップを分けて構築していくかの話となり、実際に防犯対策を進めようというお客様では、ほとんどが成約につながっています。

防犯アドバイザーのすすめ!!

ここで重要なのが「実際に現場を歩き死角の存在や隣接建物との境界線など脆弱な場所がないかを把握する」という部分になります。こればっかりは場数を踏むことと、基本的な知識が無いと的確に把握することはできません。私の場合、(一社)京都府防犯設備協会に所属しており、協会が防犯診断や防犯講話などを一般市民や企業・団体から警察を通して委託される「防犯アドバイザー」という制度があり、私も防犯アドバイザーとして警察関係者と共に多くの現場で実際の防犯診断や講演をしてきました。そこでは現場に行かないとわからない建物利用者の不安や実際に起こった犯罪の傾向、それに対する敷地・建物の脆弱性などが見えてきます。これは防犯診断を担当した件数に比例して明らかに自分の知見として増えています。そしてその専門性をお客様にアピールできるかが勝負どころです。

付加価値型提案によるwin-winの関係から更に社会貢献へ！

結果、防犯アドバイザーで得た知見・経験を生かすことで仕事が受注でき、また、効果的な防犯機器を適切に配置した防犯設備を導入して頂くことで、お客様を犯罪から守ることに繋がったと言えると思います。更に、全国でこのような成功例が増えていくことで社会全体の犯罪抑止の底上げにも繋がり大きな社会貢献にもなると考えます。

まずは、地元の地域協会の活動に参加しましょう！

全国の都道府県(愛媛・佐賀を除く)では、様々な研修会や前述しました「防犯アドバイザー制度」(地域により呼び名は違います)が実施されています。まずは、ご自身の研鑽や若手社員の育成などにも有用ですので、地域協会に入会され、事業に参画されることをお勧めします。

地域協会参加によるメリット!!

地域協会参加によるメリットとしては、前述の防犯の専門家としての自身のレベルアップによる仕事上の業績向上もありますが、実際に仕事上の情報共有や相互応援、機器販売なども会員同士で行われており、実益にもつながっています。また、専門性を生かした社会貢献活動として、働き方改革で出来た余暇を利用しての活動や定年退職後のボランティア活動として活躍されている方もおられますし、その仲間同士での懇親の場もあります。

防犯設備士の資格生かせてますか?

これまで書いてきましたように、せっかく防犯設備士の資格を取っても生かし方がわからない方向けに、私の経験からの方法を書かせて頂きました。結論としては、地域協会の活動に積極的に参画することで、「ビジネスの中で生かす」「ボランティア活動として生かす」「個人のスキルアップとして生かす」が出来るということになります。

皆様、日々お忙しいとは思いますが、是非地域協会へ入会していただき、協会活動に参加してください。

皆様と共に、犯罪のない安全で安心なまちづくりに貢献できることを心よりお待ちしております。

防犯アドバイザー講習風景



(一社)京都府防犯設備協会総会(京都府警察講演)



(一社)京都府防犯設備協会総会

